

畳のお手入れ

長く美しく畳を保ち快適な畳の生活を送るための畳の手入の仕方をご紹介します。



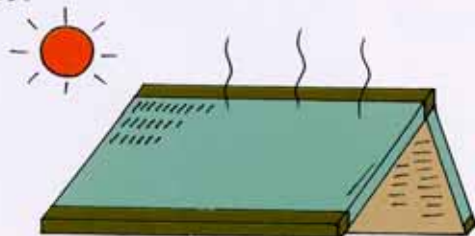
◆乾拭き

畳は濡れた雑巾は苦手です。にじむような余計な水分は（畳に限らず何でも同じですが）カビの原因になってしまいます。お手入れは、掃除機＋乾拭きが基本です。乾拭きには、市販の不織布モップが便利です。もし、丁寧なお掃除であれば、米ぬか拭きがお勧めです。掃除機をかけた後、木綿布にくるんだ米ぬかで撫でてください。米ぬかの油がしみ込んで、つやがあり、汚れにくく、また、年月が経ってもささくれにくい美しい畳に仕上がります。



◆畳干し

畳干しは、感覚的には布団を干すことと同じです。干さなければ干さずに済みますが、干せば最高に気持ち良くご使用いただけます。畳を起こして（マイナスドライバーを畳の隙間に入ると持ち上がります）空気をつかえ棒にし、窓を開けておくだけでもOKです。畳の下にこもっていた湿気がなくなり、畳が長持ちします。



◆デコボコ直し

家具を置いていて、畳にデコボコができた場合は、タオルとアイロンを使ってください。硬く絞ったタオルを被せ、上からスチームモードでアイロンをかけるだけで元に近い状態まで復元できます。



◆しみ抜き

生活していれば、いろんな物が畳の上でこぼれます。こぼれた物によりますが、汚れの種類で手入の可能なものもあります。参考にしてください。

汚れの種類	お手入れ方法
コーヒー 茶 ジュース 酒 醤油 ソース	こぼしたらすぐに、タオルやペーパー等でしみ込まないうちに吸い取り、食塩をかけてください。食塩が溜ってきたら、使用済みの歯ブラシ等で畳の目に沿ってこすり、その後掃除機をかけます。畳に色が染みている場合は、漂白剤をつけてこすって、直ぐに固く絞った布で拭き取ります。その後、水拭き、乾拭きを十分に行ってください。
ガム	シンナーがベンジンを布に浸して拭き取ってください。畳の目につまっている時は、布の上からアイロンをあてて、軟らかくして取り除いてください。
クレヨン 化粧品	住まいの洗剤を使用済みの歯ブラシに付けて、畳の目に沿ってこすり落としてください。その後、水拭き、乾拭きを丁寧に行ってください。
灯油	布にアルコールを付けて拭き取り、十分に乾拭きをしてください。
水溶性インク	ペーパーなどで吸い取り、牛乳を布に浸して拭き取ってください。その後、十分に水拭き、乾拭きを繰り返してください。



◆畳裏返し

裏返しは、畳そのものをひっくり返すと思っていませんか。畳は、ひっくり返しても表はありません。裏返しとは、畳表だけをひっくり返すことです。畳表をひっくり返すだけで、新品の気分を味わえます。畳表の品質と擦れ具合によりますが、目安は、4～5年で裏返し、7～8年程度で表替えと言われています。面倒な家具の移動も、畳屋さんがやってくれますので、最寄りの畳屋さんに相談してください。

